

## GRACHAN チャレンジルール

2019/04/1

### A クラス

※ A クラスはヘッドギア有りの「A クラスルール」と、両者合意の元、ヘッドギア無しで頭部・顔面への膝による攻撃やヒールフックの認められる「A クラスセミプロルール」がある。

### 試合

#### 試合時間

(1)3分2ラウンドとする

#### 判定

(1)時間切れの場合はドロー

### 反則

※グラウンドポジションとは足部(足首より下の部分)以外がマットに付いた状態とする。

### 反則行為

- (1) 頭突き
- (2) 目潰し
- (3) 噛み付く
- (4) 相手に唾を吐く
- (5) 髪を引っ張る
- (6) フィッシュフッキング
- (7) 股間へのあらゆる攻撃
- (8) 相手の体の開口部や傷口、裂傷部に指を入れる
- (9) 小さな関節（手足の指）を巧みに操る攻撃（small joint manipulation）
- (10) 肘の先端を下に打ち落とす行為（肘を縦に振り下ろす打撃攻撃）
- (11) 頭部・顔面への膝による打撃攻撃(ヘッドギア有りの場合)
- (12) グラウンドポジションの相手に対する踏みつけ
- (13) 相手の顔や目に向けて広げた指を向ける行為
- (14) 喉へのあらゆる打撃、気管を掴む行為
- (15) 皮膚を掴む、つまむ、ひねる
- (16) グラウンドポジションの選手の頭部・顔面に対する足による打撃攻撃
- (17) フェンスや試合場を構成する部位を掴む
- (18) 相手のコスチュームやグローブを掴む
- (19) 試合場内で口汚い言葉を吐く

- (20) 相手の負傷の原因となるようなあらゆる非スポーツマン的行為
- (21) ブレイク中の相手への攻撃
- (22) レフェリーのチェックを受けている最中の相手への攻撃
- (23) ラウンド終了の合図が鳴らされたあとでの相手への攻撃
- (24) 相手との接触を避けるあらゆる消極的な姿勢（意図的または継続してマウスピースを落したり、怪我のふりをするなど）
- (25) 試合場外に相手を投げる
- (26) 審判員の指示を著しく無視する
- (27) 相手の頭や首をキャンバスに突き刺す（いわゆるスパイクング）
- (28) 頭部から落とすスラム全般
- (29) 相手の首や脊椎に著しくストレスを与える行為（いわゆるツイスター、キャンオープンナーなどのネッククランク全般）
- (30) 競技場の状態により主催者の判断で バスターを反則に規定することができる
- (31) ヒールフック(ヘッドギア有りの場合)
- (32) 審判員の塗布するワセリン以外の塗布物を塗布する行為
- (33) 試合前に審判員によるチェックを受けていないテーピングや競技用具の着用
- (34) 審判員に対する虚偽のアピール、言動
- (35) 試合用コスチューム、マウスピース、ファウルカップ等の競技用具を破損し、試合続行を不可能にする行為

#### 体重階級

(1) 試合は次の 11 階級および無差別級において行われる。

- 1) スーパーヘビー級 120.2kg 以上
- 2) ヘビー級…………… 120.2kg 以下 93.0kg 以上
- 3) ライトヘビー級… 93.0kg 以下 83.9kg 以上
- 4) ミドル級…………… 83.9kg 以下 77.1kg 以上
- 5) ウェルター級……… 77.1kg 以下 70.3kg 以上
- 6) ライト級…………… 70.3kg 以下 65.8kg 以上
  
- 7) フェザー級…………… 65.8kg 以下 61.2kg 以上
- 8) バンタム級…………… 61.2kg 以下 56.7kg 以上
- 9) フライ級……………56.7 kg 以下 52.2kg 以上
  
- 10) ストロー級…………… 52.2kg 以下 47.6kg 以上
- 11) アトム級…………… 47.6kg 以下

(2) 許容重量は認められない。

## 競技用具等

### 必ず着用しなければならない競技用具

(1) オープンフィンガーグローブ

(2) マウスピース

(3) ムエタイカップ（金属製のカップを紐で固定するタイプのもの。プラスチック製やサポーター型の履くタイプのファールカップの使用は認められない）（男子）

(4) 男子競技者用コスチューム

男子上半身：裸または半袖のラッシュガード（身体にフィットしたもの）

(5) ヘッドギア（A クラス両者合併の元、外せる/B クラス着用）

男子下半身：MMA ショーツ、ファイトショーツ、キックボクシングショーツ、ショートスパッツ等

i) 金属・プラスチック・ファスナーなどの部品が使用されていないもの

ii) 着用時にずれないための加工がされているもの

iii) ポケットや紐に類するものが表側に付いていないもの

iv) 膝上丈までのもの

v) 清潔で破損の無いもの

vi) ショーツの下にショートスパッツを履く場合、ショーツの丈を超えるものを着用してはならない。

vii) その他、審判員により競技上支障がないと判断されたもの

(6) ニーサポーター（クッション性のあるもの。各自持参）

(7) レッグサポーター（クッション性のある履くタイプの物に限る。マジックテープなどで巻き付けて使用するタイプの物は不可。各自持参）

(8) エルボーサポーター（主催による貸与）

(9) 女子競技者用コスチューム 全て膝上丈、肘丈までとする（ラッシュガード、セパレート、ワンピース等）（女子）

(10) ヘッドギア（主催による貸与。双方合意の上で有無を選択。）

※コスチュームやファールカップなどの競技用具は、破損に備え予備も準備することが望ましい。

### 任意で着用できる競技用具

(1) バンテージおよびテーピング

1) 競技者は、手にバンテージやテーピングを巻く場合、拳の前面部（ナックルパート）および拳骨部分にテーピングを使用してはならない。ただし、指と指の間に細く

切ったテープを通すことは認められる。

2) バンテージ、テーピングの内部に芯、紙縫り、その他の異物を巻き込んではいならない。3)

拳に装着した状態で拳骨の形が確認できない厚さに巻いてはならない。

4) 肘、膝の部分をバンデージやテーピングで覆ってはならない。

(2) サポーター 競技者は、金属・プラスチック・硬質ゴム等の部品が使用されておらず、また、緩衝素材等によるパディングがされていない布製またはネオプレン製もので、審判員が競技に支障がないと認めるサポーター類を下肢（膝、足首）に着用することができる。

(3) 半袖のラッシュガード（男子）

(3) アブドメンガード（女子）

(4) チェストガードまたは胸部のパッド（女子）

セコンド

セコンドの人数

(1) 2名

提訴

提訴は一切認められない。

B クラス

「B クラスルールは肘による打撃攻撃全般及び、頭部・顔面への膝による攻撃を禁じたルールである」

試合

試合時間

(1) 2 ラウンド制で 1 ラウンド 3 分とし、インターバルは 1 分とする。

反則

反則行為

※A クラスルールに加え制限される行為。

(1) 肘による打撃

(2) 頭部・顔面に対する膝による打撃

競技用具等

必ず着用しなければならない競技用具

※A クラスルールに加え着用しなければならない競技用具。

ヘッドギア

※エルボーサポーターは着用しない

## C クラス (ビギナールール)

「C クラスルールはグラウンドポジションの相手への打撃攻撃を禁じたルールである」

※B クラスルールに準じ以下の制限を設ける。

### 反則

レッグサポーター装着部以外による顔面への打撃攻撃

どちらか一方でもグラウンドポジションになった場合のあらゆる打撃攻撃

首、足首、手首を捻る関節技

### 競技用具等

必ず着用しなければならない競技用具